

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			利用定員数に適した指導室や学習室のスペース確保ができています。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			利用人数に応じた適切な配置を行っている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		室内はバリアフリーであるが、入り口は階段のみ(スロープ等はない)
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			他教室との連携も図り、日々の業務の振り返り改善を行っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			茶話会などの開催で、保護者様の意向を把握、業務改善に努めている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページにて公開出来ている。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			顧問医師による、評価、指導を定期的に受けている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			定期的な職員勉強会を開催し、全職員で情報の共有、資質向上に努めている。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			定期的に見直しを行う
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			利用者様の特性把握や能力に関する情報を得るため有効活用している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			教室内職員全員でSSTなど計画、実施している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			本人の希望にも添いながら、様々な活動を提供できるよう準備を行っている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			長期休暇中は、集団活動を取り入れる等工夫を行っている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			ルールのあるゲームや、一人でじっくり製作を適宜行っている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			午前中に打ち合わせ時間を持ち、その日のスケジュールなどを共有している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか			○	退勤時間が異なる為、緊急を要する場面以外は翌日行っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			支援後には支援内容を記録、各自の課題の検証や改善を行う。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定期的なモニタリングを教室職員全員で行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	○			ガイドラインの基本活動に加え、教室の特色に合わせた支援を考え提供している。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			教室内で適切な職員が参加できている。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			送迎時、担任の先生との情報共有、おたよりの確認などで、連絡調整は適切に行っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	実績なし。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○	本年度適応なし。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	本年度適応なし。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○	本年度適応なし。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	本年度適応なし。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			子ども部会への参加など積極的に行っている。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			お迎え時の情報共有、連絡帳を活用し共通理解に努めている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			茶話会開催の際、ペアレントメンターにも参加して頂き支援を行っている。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			利用のしおり、パンフレットやホームページ等で情報を公開している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			面談やお迎え時、連絡帳等で共通理解に努め支援を行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	茶話会を開催できたが、コロナ禍により十分な回数は開催できなかった。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情申出窓口を設置、苦情解決責任者、苦情受付担当者が適切に対応できるよう体制を整えている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			教室ごとのおたよりを発行し、保護者様へお配りしている。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			勉強会による個人情報取り扱いの意識向上に努め業務を遂行している。

	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			特性に応じ対応し、保護者様向けには必要時、連絡ノートを活用できている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	実績なし。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			利用のしおり、一斉メールを活用し、保護者様へ緊急時の対応などは周知できている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			月1回の防災訓練を実施している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待防止委員会を設置。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか			○	実績なし。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		ご家族から情報を提供して頂き、対応を行っている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			事例は書面作成の他に、即時ラインワークス等を活用し、全体で情報共有を行っている。